

## 年始のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

穏やかな新年を迎えることができたことをお慶び申し上げます。

はじめに、昨年の能登半島地震と奥能登での豪雨災害により、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、1年が過ぎた今もなお厳しい状況が続く被災地の早期復旧・復興と被災されたみなさまの日常が1日も早く取り戻せるよう願って止みません。

昨年、石川県は能登半島で発生した2度の予期せぬ災害による甚大な被害を受け、多くの苦難を経験することになりました。また復旧工事に携わるわたしたち県内の建設業にとっても、経験したことのない厳しい試練に直面する年となりました。

被災されたみなさまは、度重なる被害を受けこの先の生活に向け、多くの苦難と不安を抱えたまま新年を迎えられていることと思います。

新年を迎えるにあたり、改めてわたしたち加州建設には、石川に根ざし地域社会と共に歩んできた建設会社として、被災地の復旧・復興を通じ、被災者の生活再建を支えていく使命と責任があるとの思いをより強くしました。

最後に、今年の干支である乙巳（きのとみ）は「努力を重ね物事を安定させていく」という意味合いを持ち、成長と変革の年になると言われています。

まさに今年は加州建設にとって、信頼され選ばれる企業となるために「景気や政策に左右されることのない対応力で安定した成長を続ける」努力を重ね、「持続可能な発展」の実現を目指すに、ふさわしい年にしたいと思っております。

この努力の積み重ねが、必ず被災地の早期復旧・復興につながると信じています。

今年もみなさまと共に、健康で充実した1年を過ごせることを願い、新年の挨拶と致します。

2025年1月6日



加州建設株式会社

代表取締役社長 塩谷 浩志